

## 教科目名 現代文 (Modern Japanese)

学科名・学年 : 全学科 3年

単位数など : 必修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 授業時間 46.5時間)

担当教員 : 山田繁伸

授業の概要			
高等学校の検定教科書「現代文」(4単位用)をテキストとして読んでいく。古典的な評論と精読に堪える定番小説教材を中心に読むと同時に、韻文特に短歌教材を読む。それぞれの教材に関連した古典にも出来るだけ触れ、日本の言語文化の奥深さと豊かさを実感する。その実感を通して、言葉による伝え合う力・考える力・感じる力を養っていく。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(C1)	
(1) 文章に応じた関連資料を駆使し、近代以降の文章を深く読み解く力を身につける。(定期試験と課題)			
(2) 論理の展開や要旨をとらえ、それらを参考にし、自分の考えを創造し表現する力を身につける。(定期試験と課題)			
(3) 作中の登場人物の心情を正確に把握し、自らの考え方や生き方を豊かにする。(定期試験と課題)			
(4) 優れた表現を味わい、自らの言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。(定期試験と課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	評論, 「ある少女の眼」加藤周一	○人間・社会・自然について様々な観点があることを読み取り, 自ら深く考える。 ○作中の人物の喜びや悲しみなどの心情をリアルにとらえ, 優れた描写を味わうことを通して, ものの見方や感じ方を広げる。	【理解の度合い】
2	評論, 「記録すること, ~」川田順造		
3	評論, 「記録すること, ~」		
4	小説, 「山月記」中島敦		
5	小説, 「山月記」		
6	小説, 「山月記」		
7	短歌, 釈超空ほか		
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説	○論理的な展開を把握し, そこにこめられた作者の見方や考え方を学び, 社会や人間についての考えを深める。 ○作品の成り立ちを含めた立体的な読みを構築する。 ○小説の文体の特色を理解し, 文学史的知識も身に付ける。	【理解の度合い】
10	評論, 「であることと~」丸山真男		
11	評論, 「であることと~」		
12	評論, 「陰翳礼讃」谷崎潤一郎		
13	小説, 「濠端の住まい」志賀直哉		
14	小説, 「こころ」夏目漱石		
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
16	評論, 「ファッションと~」柏木博	○論理の展開を逐い, 具体例からどのような事実が明らかになっているか, その過程を正確に読み取る。 ○時代状況や社会状況といった作品の背景を考えて読み取る。 ○表現上の特色に留意し, 情景や心情をとらえることを学び, 短歌を通して, 人生や自然について深く考える。	【理解の度合い】
17	評論, 「自然の抑止力」栗原康		
18	評論, 「文学のふるさと」坂口安吾		
19	小説, 「藤野先生」鲁迅		
20	小説, 「押し絵と旅~」江戸川乱歩		
21	小説, 「押し絵と旅~」		
22	短歌, 「死にたまふ母」斎藤茂吉		
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24	後期中間試験の解答と解説	○古典によって現代の感覚や考え方をとらえなおす作者の発想を理解する。 ○読むことを契機に自らの意見を持ち, その意見を発信する主体となることの意味を考える。 ○近代という時代とその中に生きる人間の自我獲得の有り様を読み取り, 現代と引き比べて考察する。	【理解の度合い】
25	評論, 「無常ということ~」小林秀雄		
26	評論, 「無常ということ~」		
27	評論, 「遊びと企て」西村清和		
28	小説, 「舞姫」森鷗外		
29	小説, 「舞姫」		
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	漢字等の課題を出し, それを課題点とする。		【総合達成度】
教科書	秋葉康治他 5名, 「精選 現代文」, 筑摩書房		
参考図書	山田繁伸, 「おおいたの歌碑を歩く」, 大分合同新聞社		
自学上の注意	授業で配布した資料は自宅で整理し別ファイルに綴じておくこと。		
関連科目	国語総合, 地域日本文学, 日本語表現法		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について, 4回の定期試験と課題で評価する。 総合評価=0.8×(4回の定期試験の平均点)+0.2(課題点) 総合評価が60点以上を合格とする。再試験は, 総合評価が60点に満たない者に対して実施する。		